

🌲 採材現地検討会を開催しました 🌲

盛岡森林管理署

令和8年10月2日（金）、盛岡市薮川字外山第一国有林内の森林環境保全整備事業による間伐事業実施現場において、当事業の請負事業体である株式会社昭林のご協力により採材現地検討会を実施し、林業事業体、林業関係団体や管内市町村担当者など約70名の関係者にご参集いただきました。

当日は、開会直前に降った雨も止み、署長の開会挨拶の後、現地の事業概要を説明し、講師として参加いただいた岩手県森林組合連合会及び東北森林管理局青森事務所から、木材需給動向や木材市況について説明いただきました。

続いて行った実習では、参加者が5班に分かれ、間伐材（カラマツ）の仕分け方（材種区分の判断等）の検討に加え、近年ニーズが高まっている一般製材用の広葉樹材の有利販売を目的に、ミズナラ、ウダイカンバなどの広葉樹5本を供試木として準備し、採材方法の検討を行いました。

各班による検討・発表の後、岩手県森林組合連合会から検討結果について解説していただくとともに、カラマツや広葉樹材における欠点の見方等について情報提供いただきました。

また、広葉樹の供試木を実際にチェーンソーで切断し割れや腐朽の範囲などを確認することで、広葉樹材における採材への理解を深めることができました。

最後に、青森事務所副所長から、労働安全の確保も含めた講評を受け、閉会となりました。

盛岡森林管理署では、今後も国有林で生産された木材の有効利用を推進するとともに、需給動向や有利採材等の知見を地域で共有し、森林・林業・木材産業の好循環や地域経済の発展に貢献していきたいと考えています。



開会式



間伐材（カラマツ）の仕分け検討



広葉樹の採材検討



広葉樹供試木の切断面の確認